

トールネックオーバードレス 正誤表

テキスト1ページ目の準備するものの欄にボタンの記載がありますがこれは記載ミスです。ボタンは必要ありません。
 ウエストリボンに共布ではなく市販のリボンを使用する場合は35mm幅のリボンを2Mほどご用意ください。
 また、リボン格納ベルト用に細幅（1cm幅前後）のリボンを20cm弱使用しますが、こちらも共布で作成しても構いません。



トールネックオーバードレス

エプロンの延長のような、それでいてそのまま出かけられるような、そんなドレスを作りました。ドレスと名称を付けましたがいわゆるジャンパースカートです。あきを作らず破り型で、デザインにも一癖持たせてついでにトレンドもちょっとだけ取り入れて、且つもっさりとした印象にならずそれでいて体型を気にせずだれでも着られるように欲張って。ちょっと欲張りすぎて楽々ソーイング枠を手放してしまいました。手順通りに進めていけば苦も無く完成させられるようなデザインとパターンに仕上げました。
 衿が邪魔ならラカド'ネックにしてinにブラウスを合わせても素敵ですし、パンツとレイヤードにしてもとても素敵です。通年を通してご利用ください。

準備するもの

- 生地 要尺は上記を参照。通年で使用できるパターンですので、比較的どのような生地でも大丈夫ですが、ヨークと衿の縫合部はそれぞれ二重仕立てで生地がだいぶ重なるので、厚地の場合はヨークの裏側を別生地にするなどの工夫を。商品画像用のサンプルではヘビーツイルを使用しています。デニムやサージ、ツイルなどは季節を問わない生地だと思いますし、秋冬にはウールもおすすめです。ニットを使用する場合はテンションの低いものを。落ち感のある生地を使うとエレガントに、パリッとした生地を使えば澁澁とした印象に。使う素材で表情が変わりますので色々とお試しください。
- 接着芯 見返し分として1M程度。
- 針・糸 地縫い用→シャッペスパン#80～#60、ミシン針は#7～14
 ロックミシン糸は#90スパン糸（通常のロック糸）。針は#11
- その他 ボタン 23mm×12個/18mm×6個
 裾止めテープ 40cm程度



動画でチェック！
 ハイネックオーバードレス再生リスト
 ※動画は準備が終わり次第順次公開予定

onepoint!

着丈を決めるときの注意点

テキストを読み進めていくとわかりますが、このオーバードレスはデザインの都合上、着丈を後から変更するのに手間がかかります。
 ※手間がかかる→前身頃と脇身頃は裾の始末をしてから縦の切り替え線を縫合するため。

でするので着丈を迷っている場合は裁断後にまずはザックリとしついで仮組みをして試着して決めるか、もしくは縫製の工程中に裾を10cm程度縫い残しておき、最後に試着して着丈を決めてから裾の始末をすると良いかと思います。縫い残す場合についてはテキストに注釈を入れてありますのでそちらをご覧ください。

また、着丈の長いアイテムに落ち感のある素材を使用した場合は押しなべて予定していた長さよりも着丈が伸びます。いざ着てみたら想定よりもはるかに伸びていたなどという事も起きますので出来るだけ試着してから着丈を決めることをお勧めいたします。

①ウエストリボン作成